

袋井消防庁舎・袋井市防災センター

Fukuroi Fire Department · Fukuroi City Disaster Prevention Center

地域防災の拠点として、いかなる時も住民を守り続ける



袋井市森町広域行政組合
袋 井 市

高まる防災意識や複雑多様化する災害へ、
迅速・的確に対応する消防防災拠点施設

令和2年、袋井消防庁舎と袋井市防災センターが誕生しました。
近年、国内では大きな自然災害が続き、住民の防災意識は高まっています。
また、今後予想される南海トラフ巨大地震をはじめ、
複雑多様化する災害へ迅速・的確に対応するための施設が求められました。
このため袋井市森町広域行政組合と袋井市は、
消防・行政・消防団の連携強化を図り、
様々な災害に対応する、地域の消防防災拠点施設を
消防庁舎と防災センターの合同庁舎として整備しました。
この合同庁舎は、本庁舎棟に免震構造を採用するなど、
いかなる災害時にも地域の安心と安全を守る役割を担います。





1. 安全と信頼を築く機能維持

- 消防防災拠点としてあらゆる災害に対して堅牢で機能維持可能な庁舎
- 緊急出動導線の明確化最短化を図った機動性の確保

2. 地域防災力の向上

- 災害対応力を培う地域防災研修ゾーンの整備
- 消防職員・消防団員・地域住民の活動技術向上のための訓練施設の充実

3. 地域をリードする環境調和型施設の実現

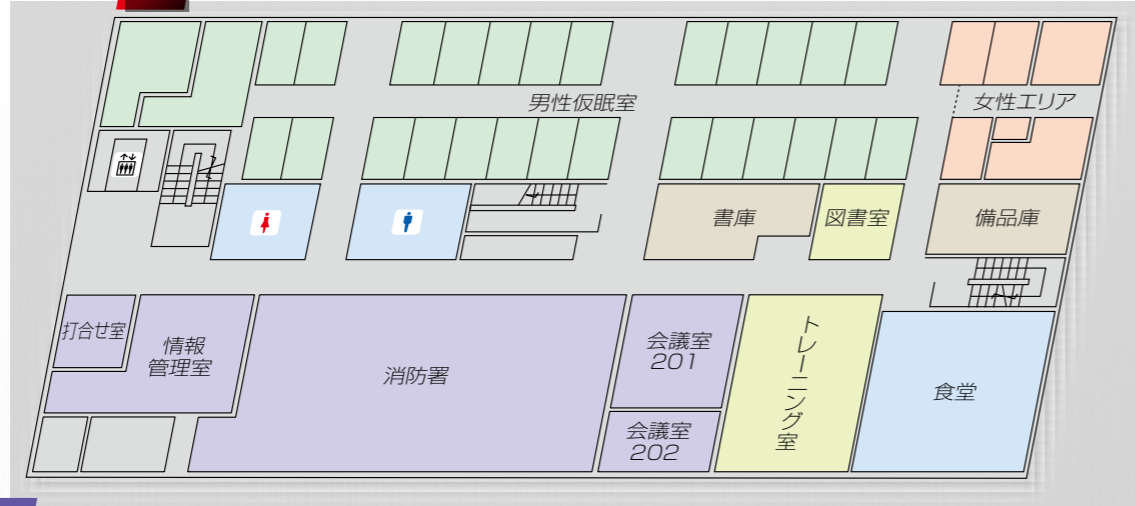
- 環境調和、省エネ手法を取り入れた維持管理の容易な施設
- 施設を訪れる誰もが利用しやすい庁舎

防ぐ

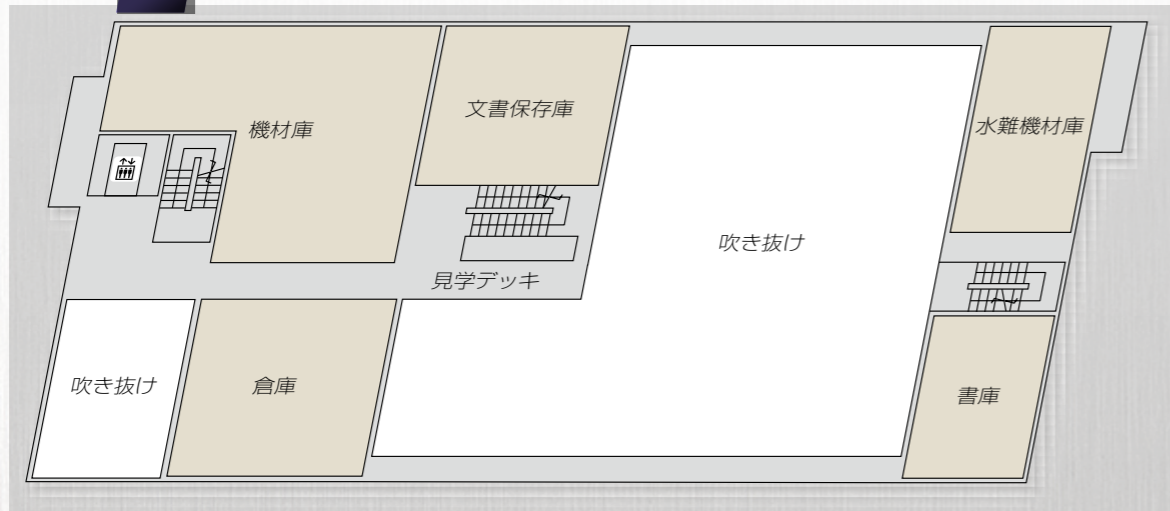
施設概要

敷地面積	8,196.42㎡
本庁舎棟	延床面積 5,296.07㎡ 4階建 鉄筋コンクリート造(免震構造)
車庫備蓄倉庫棟	延床面積 295.38㎡ 1階建 鉄骨造
総合訓練塔	延床面積 324.00㎡ 4階建 鉄筋コンクリート造
消防訓練塔	延床面積 192.00㎡ 4階建 鉄筋コンクリート造

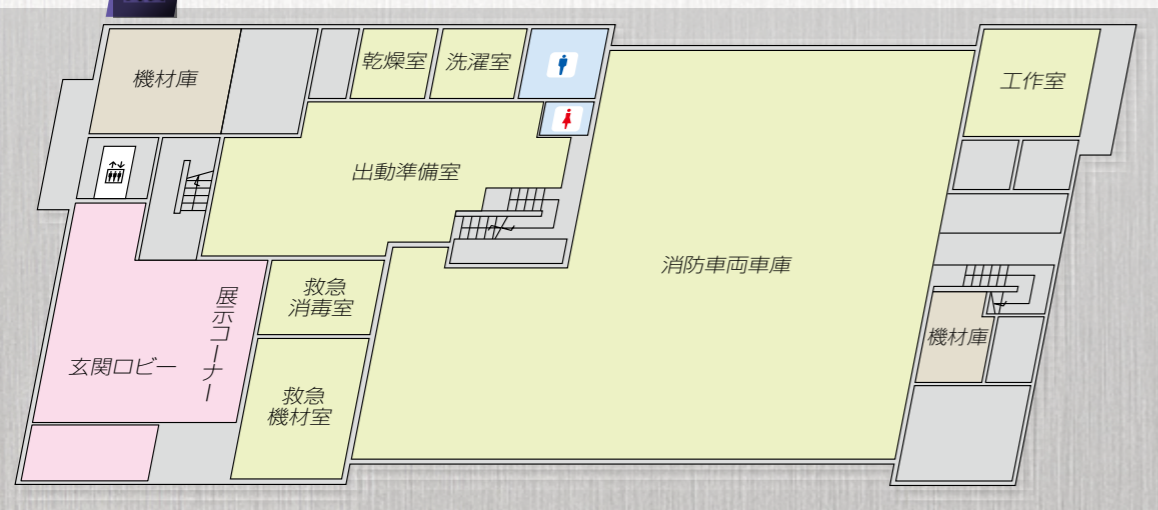
2階



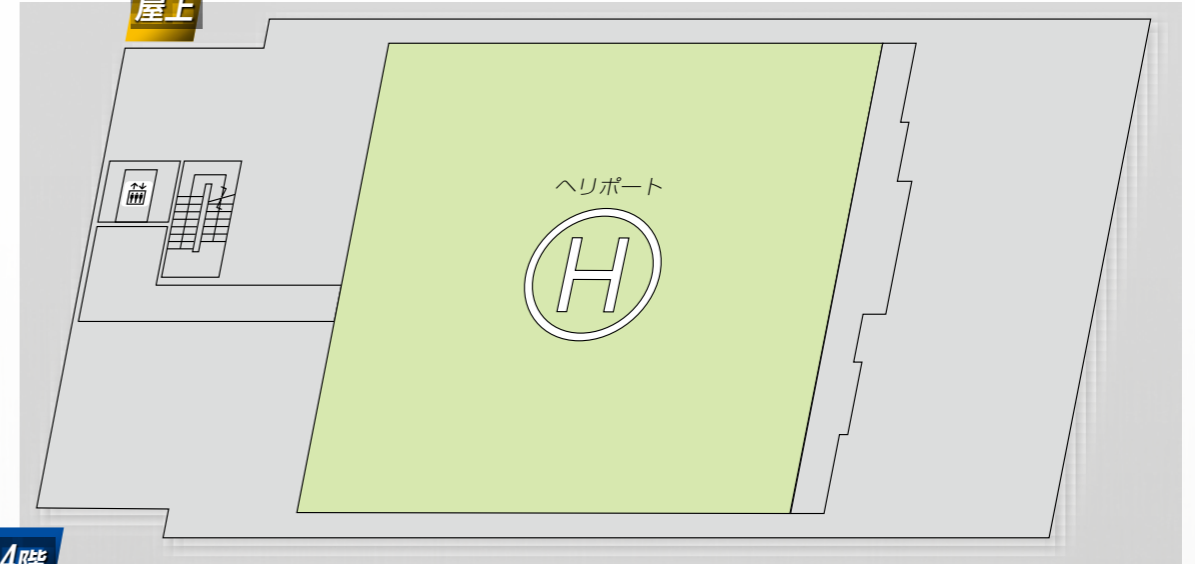
中2階



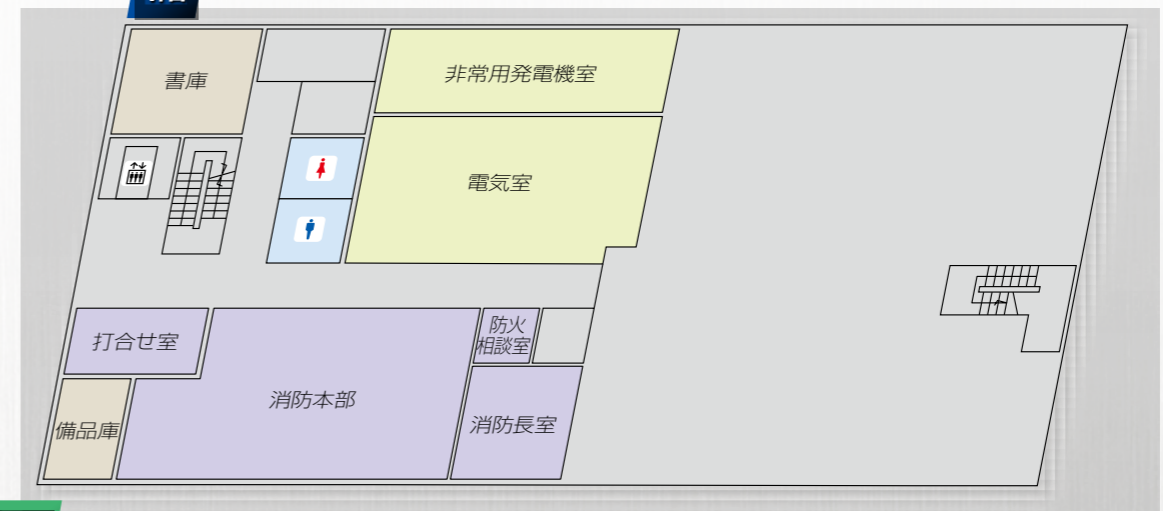
1階



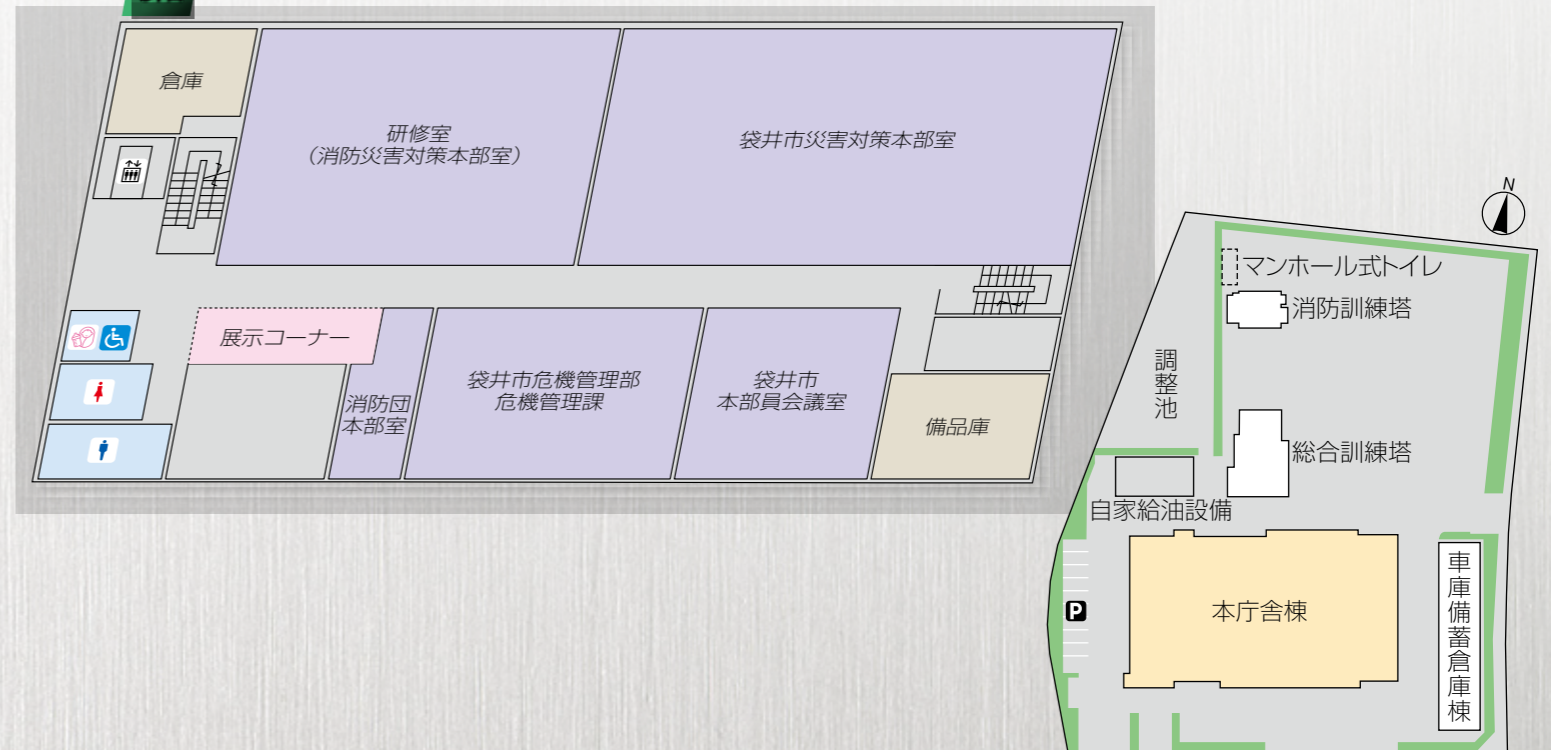
屋上

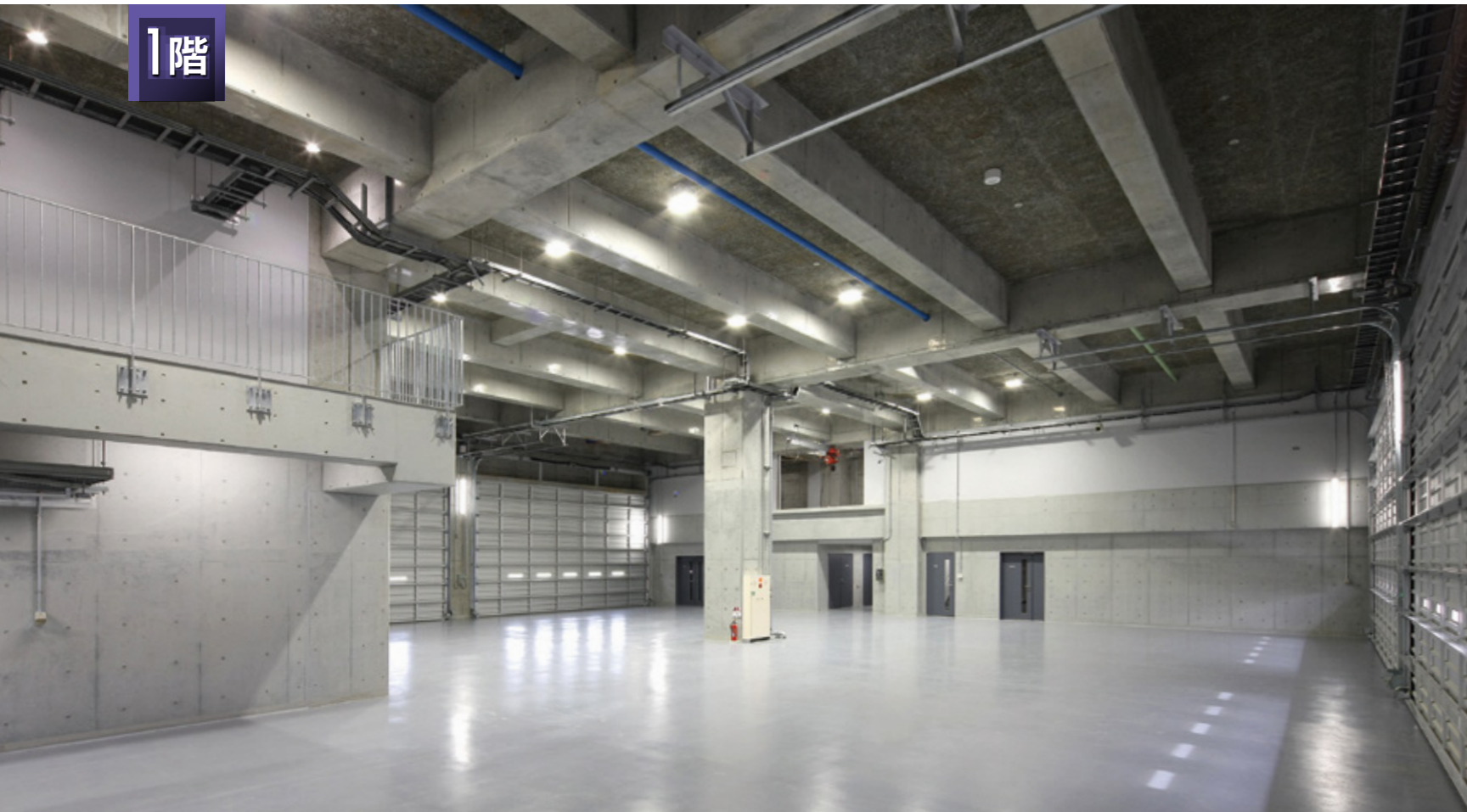


4階



3階





1階

消防車両車庫

救急車、ポンプ車、水槽車などの消防車両を格納する車庫です。緊急車両出入口は地盤改良を行い、地震時でも迅速な出動が可能です。



玄関ロビー・展示コーナー

来庁者の皆さまが防火、防災、救急などに関心を持てるよう展示コーナーを設けました。エレベーター(26人乗り)は救急用ストレッチャーが収容可能で、屋上ヘリポートから患者を搬送することができます。



救急消毒室

現場で汚染された救急機材などを消毒するスペースです。



出動準備室

消防職員の防火衣などを収納するためのスペースです。車庫、中央階段とつながっており、迅速な出動準備ができます。また、隊員同士が接触しないスペースを確保しています。

中2階



見学デッキ

消防車を上部から見学することができ、普段と違う消防車の一面を見ることができます。



機材庫

緊急消防援助隊で使用する機材や、テロ対策対応機材などを収納するスペースです。



水難機材庫

水難機材を収納するスペースです。ホイスト(電動昇降機)を設置したことにより、ボート等の重量物(250kg)も楽に移動させることができます。

2階



消防署執務室

消防署に勤務する職員の執務室です。迅速に出動できるよう出動準備室と階段ひとつでつながっています。



トレーニング室

筋力トレーニングに必要な器具を設置し、消防職員として必要な体力を養います。



情報管理室

中東遠消防指令センターとの連絡体制や、迅速、的確、効率的な情報管理を行います。出動隊と情報を共有しやすいよう、消防署執務室と隣接しています。



仮眠室

夜間の出動に備え仮眠をとります。全室個室となっておりプライバシーに配慮しています。



女性エリア

女性専用の仮眠室や厚生室などを設けて、女性が働きやすい環境を整備しました。

3階



袋井市本部員会議室

本部長(袋井市長)を始めとする本部員が災害対応の意思決定を行います。



消防団本部室

袋井市消防団長を中心に消防団本部役員の打合わせなどに使用します。



袋井市災害対策本部室

災害対策本部室を常設化し、大規模災害時には袋井市職員が自衛隊や警察などと連携し、災害対応を行います。



研修室(消防災害対策本部室)

普段は住民向けの防火・防災、救命講習などで使用し、大規模災害時には消防災害対策本部室となります。



多目的トイレ

車いす使用者、子ども連れなど、だれもが使用することができるトイレです。



4階

消防本部執務室

消防本部に勤務する職員の執務室です。
各課を同一階に設置することで、機能的な配置としました。



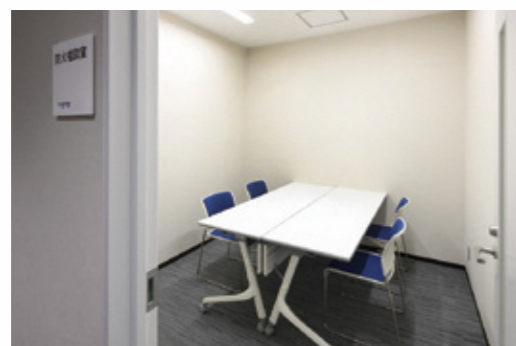
消防長室

消防長が勤務する部屋です。
職員育成などのミーティングを行います。



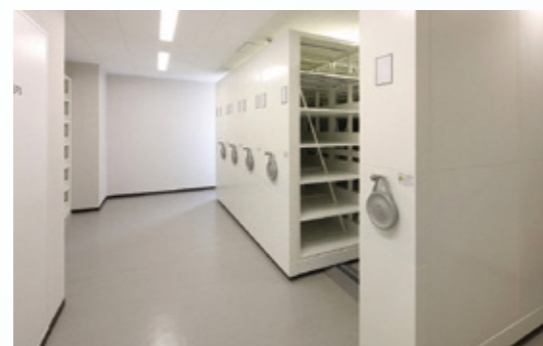
打合せ室

来庁された方との打合せに使用するスペースです。



防火相談室

防火管理に関することや、消防用設備の
設置場所などの相談を受けるスペースです。



書庫

防火対象物の台帳などを保管するスペースです。



屋上

ヘリポート

ドクターヘリを活用した救急活動や、大規模災害が発生した
場合の緊急消防援助隊、自衛隊などのヘリコプターを、
24時間体制で受け入れることが可能です。(最大荷重10t)



その他

車庫備蓄倉庫棟

消防本部及び袋井市消防団の車両などを格納しています。



自家給油設備

大規模災害時に消防車両などへの燃料供給を
絶やさないよう、ガソリン10,000ℓ、軽油10,000ℓを
貯蔵しています。



総合訓練塔(4階建)

消防訓練塔(4階建)



総合訓練塔 1階

自主防災隊等訓練室

自動火災報知設備や屋内・屋外消火栓、狭い場所からの避難訓練など住民や企業が防災教育で使用します。



総合訓練塔2階

煙体験室

消防職員の屋内消火訓練や住民の煙避難訓練、避難はしご訓練などができます。



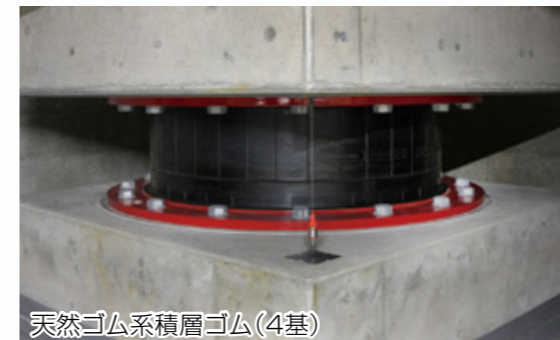
総合・消防訓練塔(壁面)

放水的

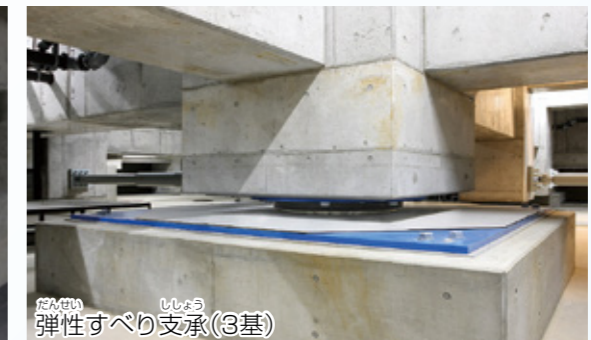
自主防災隊や消防団の放水訓練などで使用します。



地下



天然ゴム系積層ゴム(4基)



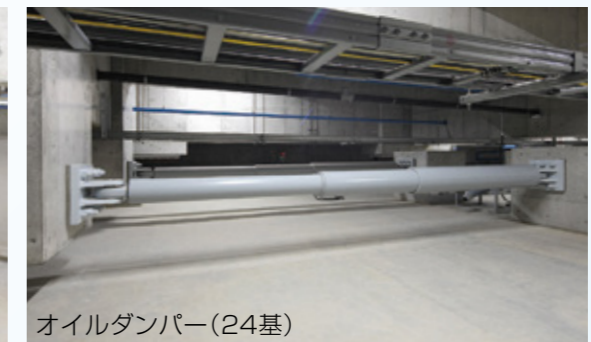
弾性すべり支承(3基)

免震装置

地質調査結果と地震波を解析し、南海トラフ(震度7)クラスの地震にもノーダメージで耐えることができる免震構造としました。免震装置により建物が最大90cm水平に移動します。



レール式転がり支承(18基)



オイルダンパー(24基)



2回線受電

災害時の電力確保のため、2つの変電所から電気を受電しています。



非常用発電機

72時間分の燃料(6,000ℓ)が確保された非常用発電機です。浸水対策として4階に設置しました。



マンホール式トイレ

緊急消防援助隊の応援部隊が、断水などの際に使用するトイレで、5基設置することが可能です。



〒437-0012 静岡県袋井市国本2907番地

袋井消防庁舎

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部
 TEL : 0538-42-0119 (代)
 FAX : 0538-43-5751
 E-mail : shobosoumu@city.fukuroi.shizuoka.jp

袋井市防災センター

袋井市危機管理部危機管理課
 TEL : 0538-86-3701 (代)
 FAX : 0538-86-5522
 E-mail : bousai@city.fukuroi.shizuoka.jp
 袋井市消防団事務局
 TEL : 0538-86-5577